

セミナー名

**本気で取り組む“高断熱・高気密住宅”
結露・カビを呼ばない設計・施工学べます(予定)**

主催: 日経ホームビルダー、協力: K.K.S.K.(健康快適省エネ住宅研究会in関西)

開催日 2015年10月29日(木曜日) 開催場所: ATC輸入住宅促進センターセミナールーム(大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル)

	タイムスケジュール	講師	内容
第1部	13:00~13:50(50分)	ダイシンビルド代表 清水一人氏	講演①関西の高断熱・高気密住宅で生じる恐れのある施工ミスとその防止策断熱高気密住宅の経験が浅い関西の職人と監督が犯しやすい施工ミスと、それを防ぐために清水氏が実践している施工上の留意点を説明する。
	13:50~14:00(10分)	休憩	
第2部	14:00~15:20(80分)	住まい環境プランニング代表 古川繁宏氏	講演②高断熱高気密住宅の施工ミスが原因で発生した結露・カビのトラブル事例とその防止策 住まい環境プランニングに相談が寄せられた、高断熱住宅で施工の不具合などが原因で起きた結露トラブル事例を詳しく紹介する。施工の不具合が生じやすい場所に関する注意点と、住まい環境プランニングが実践している施工方法を紹介する。先張り防湿シートを実施している理由と方法を説明する。
	15:20~15:50(30分)	休憩	
第3部	15:50~17:10(80分)	宮城学院女子大学教授 本間義規氏	講演③温暖地の高断熱・高気密住宅で起こる恐れのある結露・カビリスク 温暖地の高断熱高気密住宅でも、断熱材を問わず施工の不具合があれば結露やカビが発生するリスクがある理由をわかりやすく伝える。さらに、温暖地で夏型結露が起きる可能性と、基礎断熱のカビと結露のリスクを伝える
	17:10~17:20(10分)	休憩	
第4部	17:20~18:20(60分)	松尾設計室代表、K.K.S.K 会長 松尾和也氏	講演④関西の高断熱・高気密住宅で施工ミスによる不具合をなくすために 松尾氏が3人の説明をまとめたうえで、フリートークとする

講師の紹介
清水一人氏
2004年にダイシンビルド設立、同社長。NPO法人 新木造住宅技術研究協議会 関西支部支部長、JBN京阪神木造住宅協議会理事

古川繁宏氏
岩手県で高断熱・高気密住宅を手掛ける住宅会社に8年勤務した後、元社長で現在技術顧問を務める昆寛氏と2002年に住環境アルテを設立。13年に住まい環境プランニングに社名を変更し、社長に就任する。断熱・気密仕様に関する施工指導、標準詳細図の作成、トラブル対策、気密測定などを、工務店に提供する

本間義規氏
1992年北海道立寒地住宅都市研究所研究職員、2000年岩手県立大学講師、12年同教授を経て、15年から宮城学院女子大学教授。基礎断熱をテーマに博士論文を執筆。カビとの関係も研究する

松尾和也氏
松尾設計室社長。K.K.S.K.(健康快適省エネ住宅研究会in関西)会長、一般社団法人パッシブハウスジャパン理事、一般社団法人 住まいの屋根換気壁通気研究会専務理事

付録
住まい環境プランニングが作成した、断熱・気密仕様に関する標準詳細図の抜粋とその施工手順を紹介するDVD